

平成 28 年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「奨励賞」



中西 亜 紀 (なかにし あき)

1963 年 8 月 12 日 生まれ

【授賞理由】

中西氏は、医療と介護が共に学び合いより良い認知症介護のために協働するという考えを先駆的に実践されわが国の福祉政策の中に根づかせることに努力されてきました。その活動は、職域の概念にとらわれることなく広い視野に基づいたケアであり、多くの認知症の人とその家族に平穏な日常を取り戻す道筋を描いています。

【略歴】

1989 年 3 月	福井医科大学医学部医学科卒業
1989 年 6 月～1994 年 3 月	大阪市立大学医学部附属病院神経精神科
1994 年 4 月～1998 年 3 月	大阪市立大学医学部附属病院神経内科
1998 年 4 月～	大阪市立弘済院附属病院神経内科
2003 年 4 月～	大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学（非常勤講師）
2007 年 4 月～	大阪市健康局健康推進部
2012 年 4 月～	大阪市立大学大学院生活科学研究科人間福祉学科臨床心理学コース（非常勤講師）
2014 年 4 月～	大阪市福祉局高齢者施策部

【褒賞】

大阪市福祉局局長賞（2013）

【業績および活動内容】

1989 年から 1998 年にかけて大学病院と複数の精神科病院の老人病棟、痴呆性疾患療養病棟勤務した。その後大阪市立弘済院附属病院（2002 年～2014 年迄弘済院第 2 特別養護老人ホーム管理医師）に着任した。2007 年 4 月から行政職を兼務し、特に 2014 年 4 月からは大阪市に新しく認知症施策担当部署ができ、そこに医務主幹として出務して認知症施策に直接携わっている。

「医療は介護が何ができるのかを知る必要があり、介護は、医療は何かを理解する必要がある。」と考え、ともに高めあうために協働し、公的機関としてそれを発信していくことが使命と考え活動してきている。そして、個々のケアスキルのみならず、社会が認知症のひとが生活できる支援を提供できることが、これからの街づくりの鍵であり、それには認知症施策と連動した取り組みが必要であると考え、今この地でそれを実現していくことを目指している。